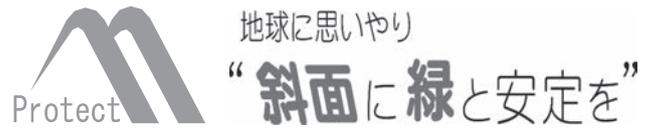


法面プロテクト株式会社

<http://www.norimen-protect.com/>

代表取締役 酒巻 勤 norimen@mx.biwa.ne.jp



1. はじめに

太古より豊かな自然と文化を育んできた琵琶湖をその中心に擁する滋賀県では、自然保護や生物多様性の保全に向けた数々の先進的な取り組みがなされてきました。その滋賀県で、私ども法面プロテクト株式会社は、1980年の設立以来、法面保護工の専門企業として、県下全域の豊かな自然を守りながら、地域住民の安全安心な生活の創出に取り組んできました。

また、琵琶湖の浚渫土や伐採木など、リサイクル資材の有効利用を実現する新たな緑化技術の開発・普及にも努めてきました。本稿では、法面緑化事業を通じた生物多様性保全に関する私どもの取り組みについてご紹介致します。

2. 生物多様性に配慮した緑化の施工事例

滋賀県は県面積の約37.3%を国定公園、自然公園が占めています。その風光明媚な景観は、水域から里山、高山帯に至る豊かな生態系と固有種を含む多種多様な動植物を育てています。その一方で、ブラックバスに代表される外来種問題が早くから問題視されるようにもなりました。そうした自然環境を背景に、私どもは平成14年頃より表土利用工や自然侵入促進工、現地採取した種子や地域性の苗木を用いた緑化を積極的に設計・施工してきました。

平成26年12月には、鳥人間コンテストの開催地として有名な彦根市松原町に位置する東北部浄化センター内の切土法面において、彦根城からの景観保全を目的に採用された表土利用工（マザーソイル工法）を施工しました。施工概要は以下の通りです。

斜面方位	南西向き	斜面勾配	1:1.2
施工面積	3,230 m ²	平均法長	約10 m (5段)
土壌硬度	平均 32.3 mm		
土壌酸度	pH(H ₂ O)5.1, pH(KCl)3.9, pH(H ₂ O ₂)4.1		

ここに周辺の常緑広葉樹林から採取した森林表土を容積比



写真-1 表土利用工 施工後3年9ヶ月（平成30年9月）

で6.4%配合した植生基材を厚さ5cmで吹き付けました。施工から3年が経過した平成30年にはヌルデやアカメガシワなどの先駆性樹種とキク科草本類による群落が全面を覆い、自然な景観が順調に回復されつつあります（写真-1）。

3. シカの食害に対する取り組み

ニホンジカによる法面緑化の食害が全国的に拡大する中で、滋賀県も例にもれず被害が深刻化しています。特定鳥獣管理計画のもとニホンジカの頭数管理が進められてはいるものの、生息密度が特に高い県北部や南東部では、対策工をなくして法面緑化を成功させることが難しい地域が増えつつあります。そうした中で獣害防止柵や、特殊金網を浮かせて設置する方法（アニマルガード工法）など、様々な方法を試み、より確実な緑化と安全性の向上を目指しています。

4. 技術研鑽と普及活動

私どもの所属する滋賀県法面処理協会では、協会設立40周年記念事業として、平成30年10月に、官民の設計・施行技術者を対象とした技術研修会を開催しました。この中では、法面の設計・施工技術の研鑽のみならず、法面緑化に用いる外来牧草が防災や生物多様性にもたらす影響について、参加者間の立場を越えた深い議論を交わすことができました。

このような、私どもの取り組みが、滋賀県の自然環境保全に寄与することを期待するとともに、広く一般にも生物多様性保全への興味・関心が浸透することを目指して、さらなる技術の開発・普及に努めて参る所存です。

末筆ではありますが、表土利用工の施工に際する、滋賀県職員の辻川氏、森氏の御指導に対しまして心よりお礼申し上げます。

表-1 会社概要と連絡先

本社所在	滋賀県大津市真野六丁目14番11号
代表者	代表取締役 酒巻 勤
創業年	昭和55年3月
資本金	2,000万円
従業員数	10名(平成31年4月時点)
事業内容	特定建設業 土木工事、及び土工工事
連絡先	077-571-3521